

北海道と北海道民を愛する皆さまへ

北海道内の新型コロナウイルス感染拡大を抑えるためのお願い

2020年7月13日

北海道大学医学研究院公衆衛生学 玉腰暁子

7月10日にイベント開催の人数制限が緩和されました。スポーツ観戦やコンサートなどを楽しみにしていらっしゃる皆さまも多いことと思います。ただ、北海道では新たに陽性となる人の数がようやく少し落ち着いてきたように見えますが、首都圏、そして最近は関西圏で、陽性者が増えていることはご存知の通りです。

新型コロナウイルス感染症対策の難しいところは、無症状あるいは軽症の方も多い中で、症状が出る前でも、人に感染させるということです。感染した人の中のうち重症化するの20%程度とされていますが、年齢が上がるほどこの割合が高くなることが示されています。したがって、人と人との接触が増える中、ウイルスが自覚症状のない方たちの間で気づかれないまま伝播し、やがて重症化しやすい方たちへと広がっていけば、医療機関への大きな負担につながることで、また亡くなる方も出てくるのが懸念されます。

この感染症とのつきあいは長くなりそうです。ウイルスがどこかに存在する以上、感染を完全に抑えることは難しいと考えられます。私たちにとって重要なことは、だれもが感染しうる、感染させうると考えて行動することです。この数日、自分がどこに立ち寄ったか、誰と会ったか、覚えていらっしゃるでしょうか。要請としては出ていないものの、現状では、感染者が増えている地域への往来はできるだけ避けた方がよさそうです。また、感染は人と人との接触により広がりますので、これまで通り「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なる場所は避けるなど、引き続き一人一人が感染予防を意識して行動していきましょう。

皆さまには、今後とも、ご自身と大切な方、そして北海道を守るため、デマに惑わされることなく、引き続きリスクを避ける行動をとられるよう、お願いいたします。

北海道の皆様へのお願い

- (1) 「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なるような場は避けましょう
- (2) 体調が悪い時は外出を控えましょう
- (3) 手洗いの習慣を維持しましょう
- (4) 自分自身も感染者になりうると考えて行動しましょう